

(様式6-3)

研修等 報告書

令和2年2月12日

三田市議会議長 福田秀章 様

私は、研修等報告書を下記のとおり提出します。

会 派 名	新政みらい	代表者	印
		議員名	佐貫尚子
参加者氏名	佐貫尚子		
講演会等研修名	加古川中央市民病院		
研修事項	公立病院と民間病院の再編・統合		
日 時	令和2年2月3日(月)～令和2年2月3日(月)		
場 所	加古川中央市民病院内会議室		
所 見 (別紙でも可)	加古川中央病院は5つの核となるセンターがあり、その中で、周産期センターは「赤ちゃんにやさしい病院認定」とされている。また救急病院の充実の中にヘリポートも設置し、災害時の協力病院として加古川市とも協定を結ばれている。この度の統合再編については、まさしく双方のタイミングが合致した統合であり、旧加古川市民病院には神戸大学医局からこのままの規模では医師を送れないとの提示また、神戸製鋼所についても建物が老朽化し200床未満で地域支援医療病院にもなっておらず、地域貢献、今後の将来性、規模の拡大を望む神戸製鋼側としては上手く条件が一致されたことで、統合には問題がなく双方の不足の部分が補完された。市民側からも多少の意見があったが、進むことができた三田市でも現在、統合再編に関して協議が進められているが、市民側からすると、大学の医局との関係は無知であり、そのあたりの説明、病院を維持するうえでの説明は今後も継続して周知すべき。傍聴でかじったことは、この度の加古川中央病院については、双方のタイミングが一致したことが統合再編をすすめられた大きな理由の一つではなかったかと感じた視察傍聴であった。		
添付資料	・ ・ ・ ・		

添付書類(講演会内容のパンフレット等)

会派支給の場合、会派名、代表者名を記入の上、押印してください。

個人支給の場合、会派名(無会派は記入不要)、議員名を記入の上、押印してください。

加古川市民病院機構の取組み 官民の経営統合から病院統合へ

地方独立行政法人 加古川市民病院機構

東播磨医療圏域の概況

項目	内容
構成市町	明石市、加古川市、高砂市、稲美町、播磨町
面積	266.40km ² (県総面積の3.2%) (H26.10.1現在)
人口	714,587人 (H26.10.1現在)
医療施設数	病院10、一般診療所536、歯科診療所339 (H27.4.1兵庫県調べ)
医師数	医師1,376人 (人口10万人当たり192.1人、全県241.6人、全国244.9人) ※厚生労働省「平成26年医師、歯科医師、薬剤師調査」
病床数	6,236床 (一般・療養の合計、H27.4.1)

